

県民協働の取り組み自己チェックシート（振り返り前）

基本項目

記入者氏名：政策監グループ広聴・調査担当 志波圭介（内線 1475）
 事業名：「さが元気ひろば」（県民総合相談・情報提供窓口）及び「受付案内」業務委託事業
 事業内容：さが元気ひろば・受付案内業務
 行政担当課：政策監グループ
 CSO名：NPO法人佐賀県CSO推進機構
 協働はいつ開始されましたか。
 1. 予算案作成前から 2. 予算決定後、企画の段階から 3. 実施段階から
 4. その他（公募を行い、受託団体が決定してから）
 協働の呼びかけは、どちらからですか。
 1. CSO 2. 行政 3. その他（協働化テストでCSOが提案し、その後行政から呼びかけた（公募））
 協働の形態は何ですか。
 1. 協働型委託 2. 共催 3. 補助 4. 後援 5. 事業協力
 県民協働のコーディネーターは同席しましたか。
 1. 同席した 2. 同席していない（理由）

振り返り（評価）項目	行政	CSO
計画段階		
1. 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
2. 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
3. 県民のニーズについて話しあい、反映されていますか。	はい	はい
4. 協働の理由は明確ですか。	はい	はい
5. ふさわしい協働の形態が検討されましたか。	はい	いいえ
6. 協働する相手を選ぶ手法は適切でしたか。 当初から決まっている場合： 当初から決まっていない場合：公募を実施し審査会で受託者を決定	はい	はい
7. 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい
8. この事業についての事業計画、収支計画をともに作りましたか。		いいえ
9. 協働する期間をともに考えましたか。	はい	いいえ
10. 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい
計画段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。 （行政） 5：CSOの提案を受け県において検討 8：公募形式のため事業計画は基本的に県が設計、収支計画はCSOが設計した。 （CSO） CSOは公募要領及び仕様書に基づき、事業を提案した。		
実施段階		
1. 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい
2. 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい
3. 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい
4. 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい
5. 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい
実施段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。 （行政） 5：CSOは報告のみ。事業実績について概要を公開（県HP） （CSO） 提案書及び仕様書に基づいて事業を行っている。		

成果の把握			
1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。		はい	いいえ
2. 成果目標は達成できましたか。		はい	はい
<p>成果の把握において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <p>(行政) 業務の内容が相談窓口及び情報提供であるため、数値的な目標はない。利用者サービスが十分にできているか、県・CSO間で随時確認を行っている。</p> <p>(CSO) 成果目標は県民満足度をあげることに認識しているが、それを数字で表すことはひろばではそぐわないと思う。 利用者アンケートを取って、ひろばの改善するところがあれば、そこを改善していき、県民満足度をあげていく。これまで実施したアンケートでは相談員の対応については満足している方が多かった。</p>			
課題の抽出			
1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。		はい	はい
<p>課題の抽出において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <p>(行政) 毎月1回、県と受託団体でミーティングを実施し、課題等について意見交換をしている。</p> <p>(CSO) ・ 毎月1回の政策監Gとのミーティングでは、ひろばの運営について話し合いをし、問題解決を図っている。 ・ 政策監Gとの「報告・連絡・相談」を心がけ、情報共有を図っている。</p>			
改善案の作成			
1. 改善案をお互いに話し合い、作成しましたか。		はい	はい
<p><改善案内容のポイント></p> <p>(CSO) ひろば運営については、毎月政策監Gと協議の場を設け、運営課題を話し合い解決を図っている。</p>			
2. 今後の官民の役割分担を明確にしましたか。		はい	はい
<p>改善案の作成において、記すべきコメントがあればここに記入してください。</p> <p>(行政) 毎月1回、県と受託団体でミーティングを実施し、改善案等について意見交換をしている。</p> <p>(CSO) 政策監Gとのミーティングは議事録を作成し、CSO本部とも情報共有している。</p>			
総合評価			
<p>自由意見</p> <p>(行政) より県民の目線に近づいた対応が可能となった。 受託者のアイデアを活かしたサービスの提供が可能となった。</p> <p>(CSO) 新たなサービスとして有償頒布行政資料を4箇所の市民活動支援オフィスで取扱うようになった。 テレビを設置し、災害時における災害情報をひろば来所者に提供することができる。 各市町から観光パンフを提供していただき、相談者のニーズに応えられるように準備している。 無線パソコンでインターネットができるように、環境を整えた。</p>			

振り返り(評価)の各項目に「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。